

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生確保の見通し

本学医学部医学科の入学定員 125 人については、下記の理由から入学定員を十分に確保できると考えている。

① 定員充足の見込み

本学は、「新医師確保総合対策」に基づき、平成 20 年度から平成 29 年度までの間に 10 人の臨時定員増を、平成 21 年度には「緊急医師確保対策」に基づく平成 29 年度までの 5 人の臨時定員増と、「経済財政改革の基本方針 2008」に基づく 5 人の恒久定員増をそれぞれ実施した。

さらに、平成 22 年度には、「緊急臨時的医師確保（経済財政改革の基本方針 2009 地域枠）」に基づき令和元年度までの間に 5 人の臨時定員増を実施した。平成 29 年度までの期限の対策 15 名については、令和元年度までの延長が承認され、これらの対策により、入学定員を 100 人から 125 人に増員した。

文部科学省による学校基本調査では、高校卒業者数、大学等進学者数の変化は、表 1-1 及び表 1-2 のとおりとなっており、平成 20 年度と平成 30 年度を比較した場合、全国では高校卒業者数は減少しているが、大学等進学者数及び大学等進学率ともに増加している。山梨県では、高校卒業者数、大学等進学者数、大学等進学率の全てにおいて減少しているものの、進学率は全国平均を上回っている。

本学医学部医学科の入学志願状況は、一般選抜は表 2-1、地域枠は表 2-2 のとおりである。

過去 5 年間における、一般選抜の志願倍率は 13.5 倍以上であり、地域枠（推薦選抜）は 2.5 倍以上となっている。

一般選抜においては、志願者数、受験者数ともに大きな変動はなく、安定して多くの受験者を確保しており、また、地域枠では志願者数は増加傾向であり、志願倍率 2.5 倍以上は維持している。

以上のことから、125 人の入学定員の設定は適切であり、今後も学生の確保は問題ないと考える。

<表 1-1 進路別卒業者数（全国）>

年度	高校卒業者数	大学等進学者数	大学等進学率
H20	1,088,170 人	574,990 人	52.8%
H30	1,056,494 人	578,769 人	54.8%

<表 1-2 進路別卒業生数（山梨県）>

年度	高校卒業生数	大学等進学者数	大学等進学率
H20	8,755 人	5,045 人	57.6%
H30	8,005 人	4,448 人	55.6%

<表 2-1 山梨大学医学部医学科入学志願状況（一般選抜）>

年度	種別と定員	志願者数	志願倍率	第 1 段階選抜合格者	受験者数	合格者数	入学者数	定員超過率
H27	一般選抜(90)	1,274	14.2	901	395	103	90	1.00
H28	一般選抜(90)	1,214	13.5	901	391	108	90	1.00
H29	一般選抜(90)	1,620	18.0	901	335	100	90	1.00
H30	一般選抜(90)	1,256	14.0	900	338	104	92	1.02
R 1	一般選抜(90)	1,294	14.4	901	343	110	90	1.00

注) 1. 志願倍率は、小数点第 2 位を四捨五入。

2. 定員超過率は、小数点第 3 位を四捨五入。

<表 2-2 山梨大学医学部医学科入学志願状況（地域枠）>

年度	種別と定員	志願者数	志願倍率	第 1 段階選抜合格者	受験者数	合格者数	入学者数	定員超過率
H27	地域枠(35 以内)	102	2.9	53	53	35	35	1.00
H28	地域枠(35 以内)	96	2.7	53	53	35	35	1.00
H29	地域枠(35 以内)	89	2.5	53	52	35	35	1.00
H30	地域枠(35 以内)	95	2.7	53	53	33	33	0.94
R 1	地域枠(35 以内)	103	2.9	53	53	35	35	1.00

注) 1. 地域枠は、山梨県内高校出身者を対象とした入学試験。

2. 志願倍率は、小数点第 2 位を四捨五入。

3. 定員超過率は、小数点第 3 位を四捨五入。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

次の取り組みを通じ、積極的に学生確保を行っている。

ア オープンキャンパス

進学を希望する高校生とその保護者を対象にオープンキャンパスを開催している。内容は、本学の特色の説明、模擬授業、在学生による学生生活の説明、医師・研究者としての活動など、多岐にわたっている。参

加者は、進学希望大学を決める前の高校2年生が中心となっており（表3-1）、参加者の高校所在地は山梨県内が多いが、隣県の長野県や静岡県、関東エリアからの参加者も多く見受けられる。（表3-2）

オープンキャンパスでは、平成30年度から午前と午後の2部制とし、事前申し込み定員を200人から300人に拡大したが、事前申し込みなしに当日直接来場する参加者も多い（表3-3）。

<表3-1 オープンキャンパス申込者内訳>

単位：人

	高3年	高2年	高1年	既卒者	保護者	その他	計
H27	27	77	22	25	7	3	161
H28	29	74	16	15	14	1	149
H29	37	72	23	10	9	2	153
H30	45	101	73	28	13	2	262
R 1	40	100	64	26	21	4	255

注) H27 から H29 年度は、午後の部の大学説明への参加者のみ集計した。

<表 3-2 オープンキャンパス申込者在籍（出身）高校所在地内訳>

単位：人

	山梨県	長野県	静岡県	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県
H27	63	9	10	46	15	12	5
H28	60	9	8	42	12	9	4
H29	55	4	2	55	15	11	6
H30	110	21	16	64	17	16	4
R 1	110	16	7	60	17	11	8

	栃木県	群馬県	茨城県	新潟県	その他	計
H27	0	0	1	0	4	165
H28	2	5	1	0	5	157
H29	3	2	0	1	3	157
H30	1	0	3	0	10	262
R 1	3	5	5	0	13	255

<表 3-3 オープンキャンパス参加者数>

単位：人

	H27	H28	H29	H30	R 1
申込者	165	157	157	262	255
同伴者	97	89	88	129	131
参加者計	262	246	245	391	386

注) 1. 事前参加申込定員は、200人。

2. 参加者数は、同伴者と当日受付者を含む。

イ 山梨県下高校生への公開授業

「山梨県下高校生への公開授業」は、大学の授業に触れる機会を通して学問の面白さ、様々な教育分野に触れる楽しさ、奥深さを理解してもらい、将来大学で学ぶ動機づけとなることを期待し、ブタの心臓を使用した「心臓病と心臓手術体験」などの医学部医学科に関する授業を、高校生向けに分かり易い内容で行っている。毎年7月下旬に、高校生が

興味を抱くような講義を多数用意し、約1週間に渡り実施している。(表4)

受講希望者が、募集定員を上回る人気のある講義も多い。

<表4 山梨県下高校生への公開授業参加者数>

単位：人

	H27	H28	H29	H30	R 1
授 業 数	21	20	23	23	22
募集定員	487	502	526	589	555
参加者数	305	460	537	572	615

注)：1. 対象は、医学部医学科の教員による公開授業。

2. 参加者数は、延べ数。

ウ 出前講義

「出前講義」では高大連携の一環としての全学的な事業であり、医学部医学科でも実施している。大学で学ぶ学問、研究の奥深さ、面白さを、出前講義を通じて体験することで、高校生のうちから学問・研究への意欲と興味を抱き、「学ぶ」意義を自ら見出し、大学での学びの動機づけとなることを期待している。

各年度の5月から12月の間、県内を中心とする高校からの求めに応じ、直接教員が出向いて講義を行っている。医学部医学科の実施状況は、表5のとおりである。

<表5 出前講義実施数>

単位：件

	H27	H28	H29	H30	R 1
実 施 数	10	5	7(1)	7(1)	13(3)

注) 1. 実施数は、延べ数である。

2. () は県外高校の実施数で、内数である。

エ 山梨県内高等学校と山梨大学との入学試験等に関する情報交換会

高等学校進路指導教員への情報発信及び意見交換を目的として、毎年8月に「山梨県内高等学校と山梨大学との入学試験等に関する情報交換会」を実施しており、令和元年度は、普通科を設置している県内の公立

高校 33 校、私立高校 3 校と工業高校 1 校が参加している。

高等学校進路指導教員に対する貴重なアピールの機会となっており、地域枠への優秀な受験生の推薦依頼も行っている。

また、平成 30 年度から、地域枠入試に受験生を推薦している高校長と医学部長、医学部入試委員会委員長等との意見交換会を開催している。大学からは医学科の現状や入試に関することを説明、高校長へは受験生の現状や大学に対する意見を聞くとともに、地域枠入試への理解と協力を依頼している。